

訪問歯科新聞<5月号>

～歯の生え変わり～

私たち人間や犬、猫、馬などは子供の頃に乳歯から永久歯と生え変わります。これは、顎の成長に合わせて歯のサイズも変えなければいけないからです。

この歯の生え変わりは、動物の種類によって回数はさまざまなのです！！

少し紹介してみますね♪

サメ



サメの歯は一生に何千本も生え変わります。獲物を捕らえる際に一本でも折れたりかけたりすると、歯列ごと生え変わるのです。サメの歯は歯列ごとに少しずつずれて、後ろに控えているのです！

サメの歯は人のように顎の骨に根が埋まっているわけではなく、皮膚が進化したものです。なので、硬いものをすり潰したりはできずにまる飲みするしかないのです。



サメのアゴの断面

抜け落ちた歯 歯茎(歯のもと)

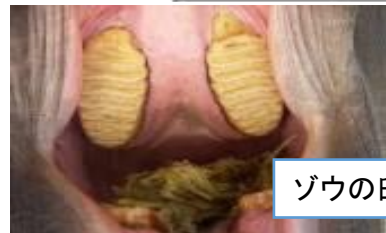
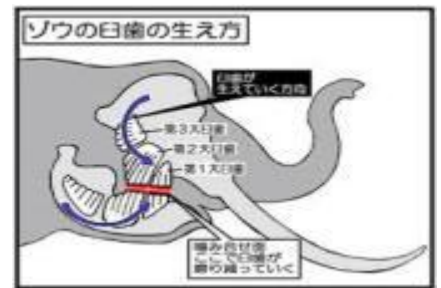


ゾウ



ゾウの歯は一生で6回も生え変わります。

ゾウは一日のうちのほとんどの時間を食事に費やします。草や樹皮、果実などとても多く食べ、一日の排泄量は150kgほどと言われています。そのために臼歯はどんどん磨り減っていきまそ。なのでゾウの臼歯は後ろから押し出されるようにして、まるでベルトコンベアのように生え変わっていきます。最後の臼歯が磨り減る頃がゾウたちの寿命の約70歳くらいだと言われています。

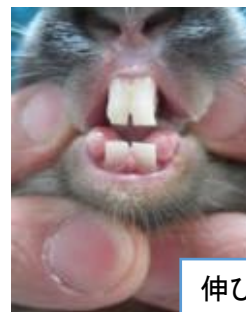


ゾウの臼歯

リス



リスの特徴的な前歯は、門歯と呼ばれ硬いどんぐりや木の実の皮を上手に剥くことができます。門歯の裏側はエナメル質が無いので軟らかく、とても磨り減るのが早いです。また門歯はどんどん伸びるために、ほおっておくと一年に20センチも伸びてしまいます。このような門歯を持つげっ歯類のネズミやビーバーなどは伸びすぎてしまはならないように、硬いものを食べて長さを調整しなければなりません。



伸び過ぎた門歯



このように動物によっては何度も生え変わったり、伸び続けたりとさまざまですが、人間のは一生に1回きりしか生え変わりません。今ある永久歯は一生使わなくてはなりません。歯がないと食事もうまく取れません。毎日しっかりケアして大事にしましょう！

